感染症発生動向調査
2022年第18週
（5月2日～5月8日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

- **新型コロナウイルス感染症**の報告が2,735例あり，本年の累積報告数は90,865例になりました。
  本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
  〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
  https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html
- **細菌性赤痢**の報告が1例（30歳代女性）ありました。症状は発熱，下痢，腹痛で，感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例（60歳代男性）ありました。症状は菌血症等です。本年の累積報告数は7例になりました。
- **梅毒**の報告が1例（70歳代男性）あり，感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は33例となりました。
  京都市では，HIV・性感染症（梅毒・淋菌・クラミジア）検査を予約制で実施しています。詳細については，下記のホームページをご覧ください。
  〇京都市情報館「京都市のHIV検査について」
  https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html
- **小児科定点把握感染症**は，前週までと大きな変化はなく，発生数は低く推移しています。

◆ 今週のトピックス：＜侵襲性肺炎球菌感染症＞

京都市では第18週に侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。過去5年の年間報告数は2017年から2019年までは63例から73例で推移していましたが，一昨年は25例，昨年は19例で，それまでの3割弱～4割程度でした。本年は今のところ7例の報告に留まっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- **二類：結核 5例（肺結核 1例，その他結核 1例，潜在性結核感染者 3例）うち喀痰塗抹陽性 1例**
  【1月以降の累積報告数 85例（肺結核 42例，その他結核 21例，潜在性結核感染者 22例）うち喀痰塗抹陽性 16例】
- **新型コロナウイルス感染症 2,735例【1月以降の累積報告数90,865例】**
- **三類：細菌性赤痢 1例**【1月以降の累積報告数 1例】
- **五類：侵襲性肺炎球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 7例】
- **五類：梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 33例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0	0
小児科	① 感染性胃腸炎	2.09	90
（降順5位まで）	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	8
	③ 突発性発しん	0.16	7
	④ 水痘	0.07	3
	⑤ 咽頭結膜熱	0.02	1
	⑤ 手足口病	0.02	1
	⑤ 伝染性紅斑	0.02	1
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.02	1
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

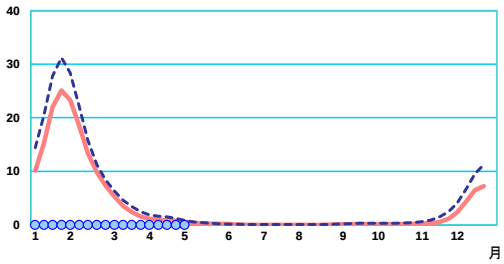
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜侵襲性肺炎球菌感染症＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2022年5月11日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

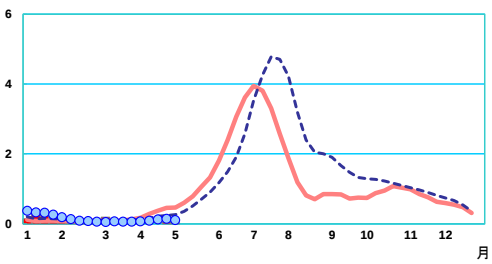
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）

京都市_本年　京都市_過去5年平均値
全国_本年　全国_過去5年平均値

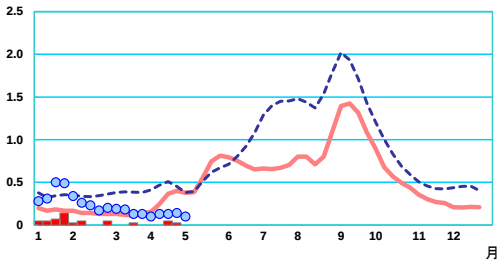
インフルエンザ



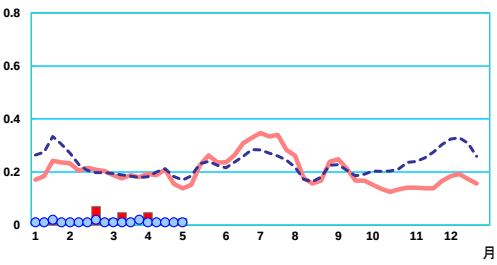
手足口病



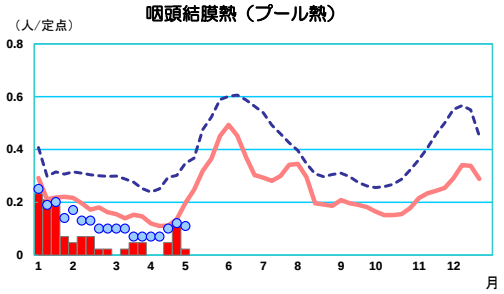
RSウイルス感染症



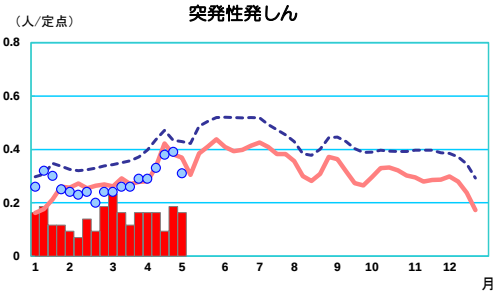
伝染性紅斑（りんご病）



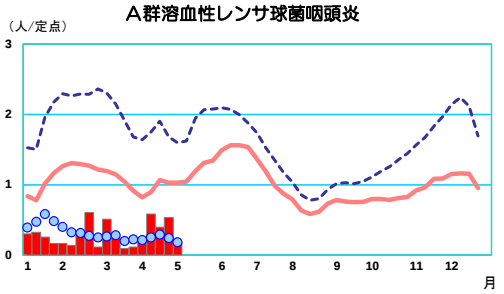
咽頭結膜熱（プール熱）



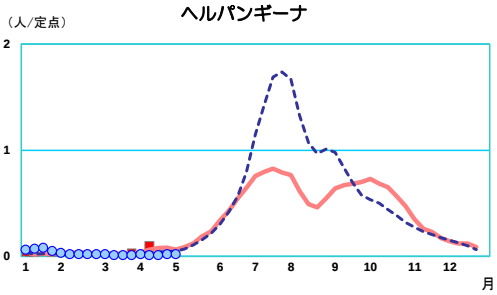
突発性発しん



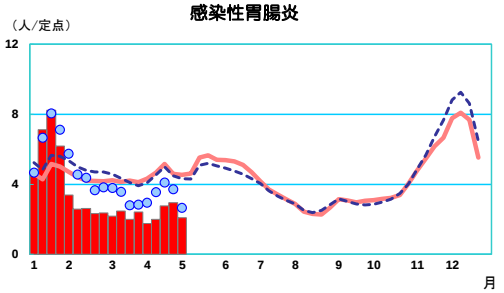
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



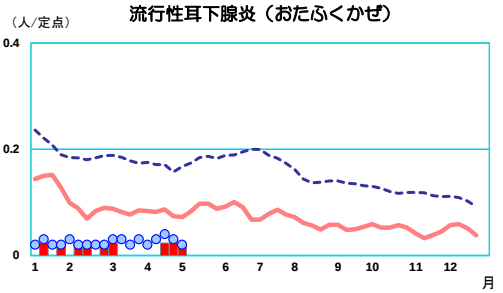
ヘルパンギーナ



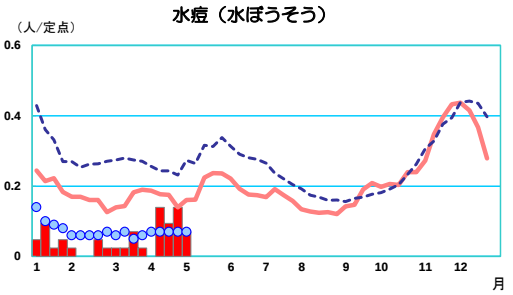
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

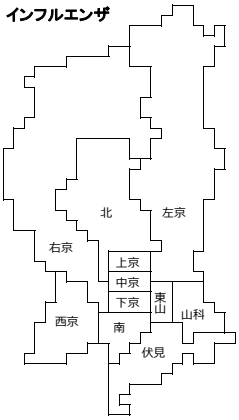


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２２年 第 18 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

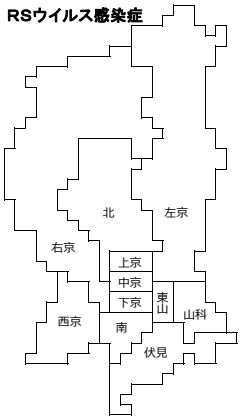
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

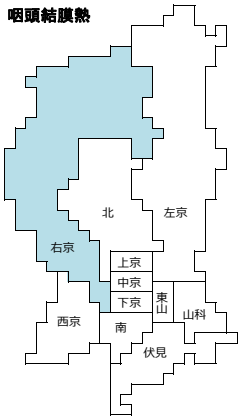
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

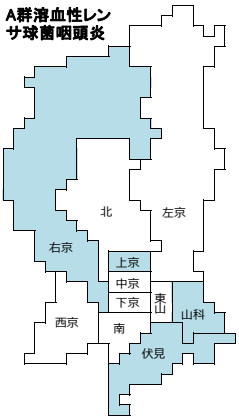
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0
西京	0

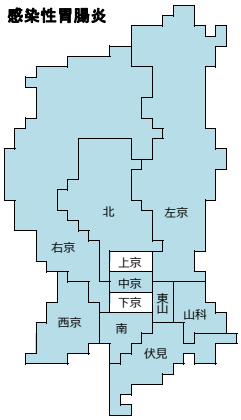
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 0.19	
北	0
上京	0.67
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0
右京	0.60
伏見	0.14
西京	0

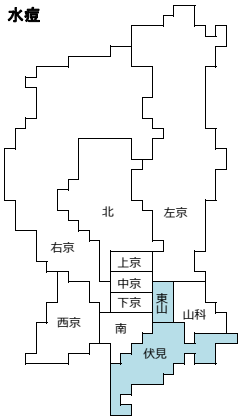
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 2.09	
北	0.25
上京	0
左京	1.00
中京	1.67
東山	3.00
山科	0.60
下京	0
南	1.33
右京	3.80
伏見	4.29
西京	3.60

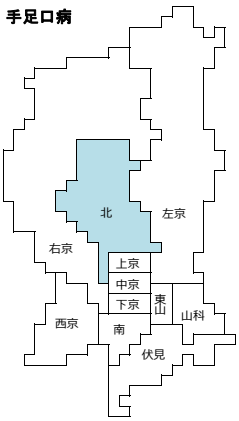
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.07	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0.50
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0.29
西京	0

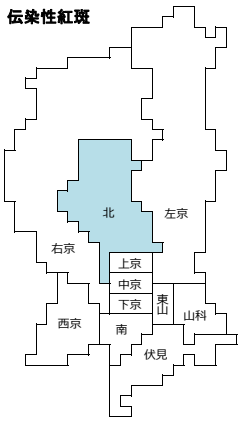
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.02	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

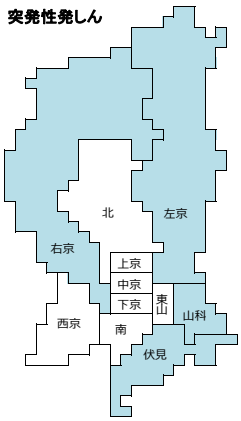
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.02	
北	0.25
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

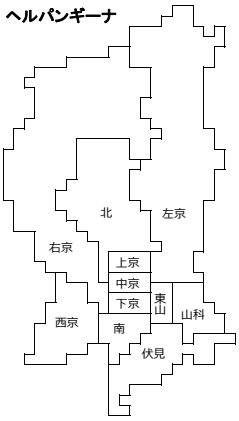
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.16	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0.80
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.14
西京	0

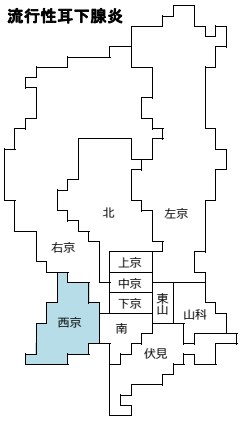
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0.20

第18週（5月2日～5月8日）トピックス：＜侵襲性肺炎球菌感染症＞

京都市では第18週に侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。過去の年間報告数推移を見ると，2016年までは増加が続き，以後2019年までは63例から75例で推移していましたが，一昨年は25例，昨年は19例で，2016年以降の3割弱～4割程度でした。本年は今のところ7例の報告に留まっています（図1）。

本疾患は2013年4月に感染症法の5類全数把握感染症として，診断から7日以内の届出が義務付けられました。全国の推移を見ると，2017年までは年々増加していましたが，2017年から2019年は3,200～3,300例程度で微増から横ばいでした。一昨年の全国の報告数はかなり減少してそれまでの半分程度，昨年は更に少なくなっています。本年は，現在まで404例の報告があり，昨年同時期とほぼ同じ発生状況です（図1）。

2017年から2022年第18週までの全国の報告数合計21,305例を年齢階級別でみると，最も多いのは70歳以上で46％と半数近くを占め，次いで60歳代が19％で，60歳以上で全体の65％を占めています。また，0歳が3％，1～4歳が13％で合わせて16％となっており，5歳未満と60歳以上の年齢層が疫学的に重要と考えられます（図2）。

本疾患の症状は小児と成人で異なります。小児では，肺炎を伴わず，発熱のみを初期症状とした菌血症が多く見られます。一方，成人では，発熱，咳嗽，喀痰，息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

予防施策として，肺炎球菌感染症の好発年齢である5歳未満の小児と65歳以上（一部60歳以上）の成人を対象として，肺炎球菌ワクチンによる定期予防接種が実施されています。小児（生後2月から60月（5歳）未満）は無料，65歳以上（一部60歳以上）は原則として自己負担があり，いずれも予防接種協力医療機関で接種できます。新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず，予防接種は適切に受けるよう心掛けましょう。接種対象年齢，接種回数，自己負担額，京都市予防接種協力医療機関については，以下のURLを参照してください。

○京都市が実施する子どもの定期予防接種について（京都市情報館 保健福祉局）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について（京都市情報館 保健福祉局）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html

図１　京都市および全国の年間報告数推移

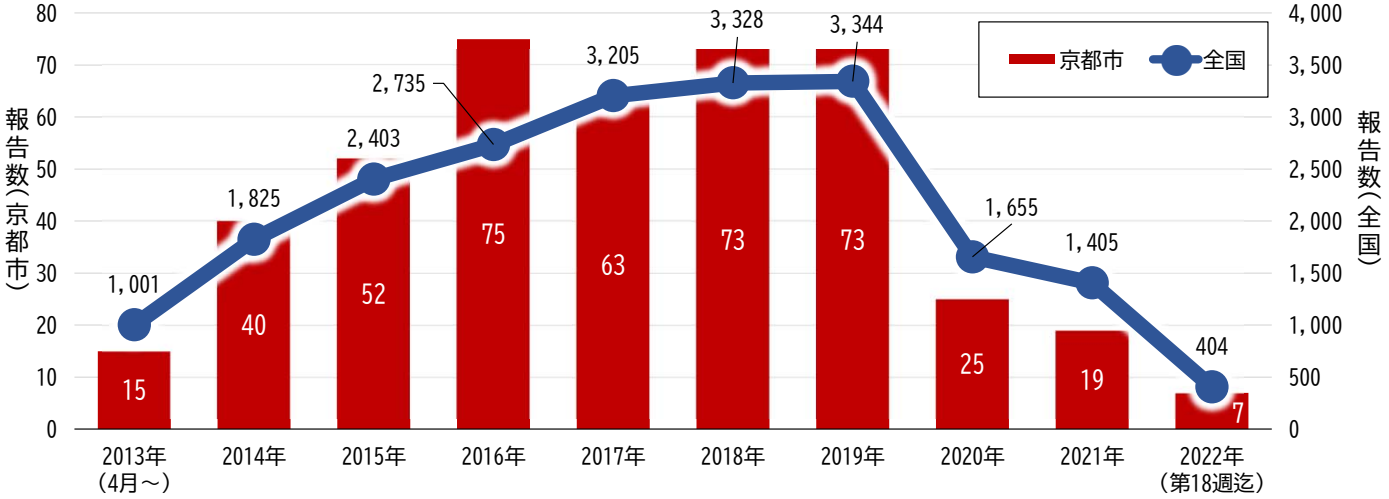
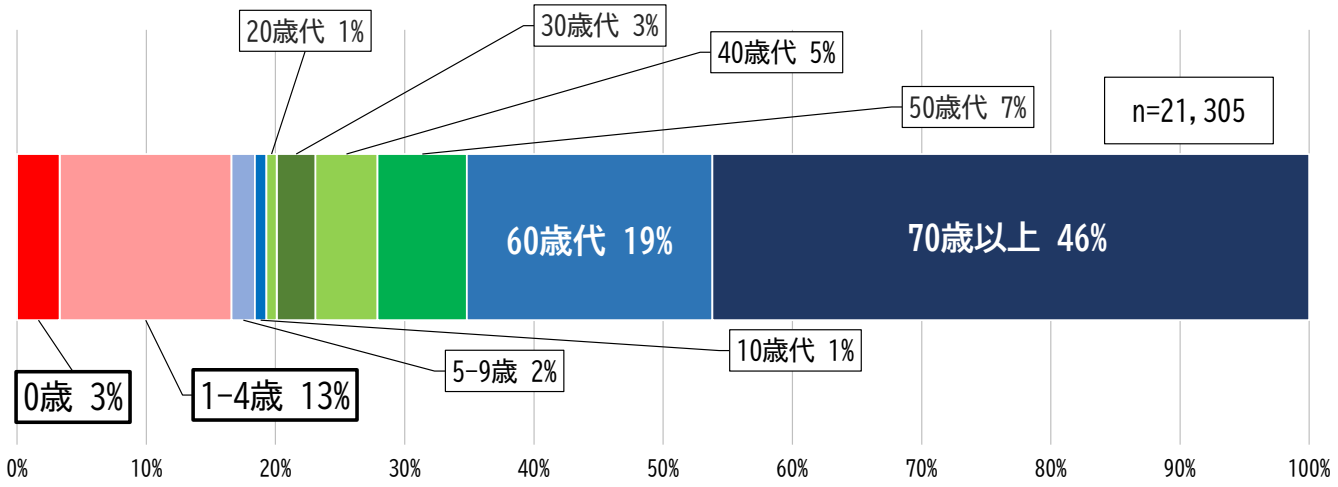


図２　全国の年齢階級別割合（2013年4月～2022年第18週）



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

疾病,行政区別報告数　　2022年5月2日～2022年5月8日　　データ入手日:2022年5月11日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	1	－	1	1	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	－	4	－	－	－	1	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	6	1	－	－	－	－	－							
山科	－	－	－	2	3	－	－	－	4	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－							
右京	－	－	1	3	19	－	－	－	1	－	－	－	2					
伏見	－	－	－	1	30	2	－	－	1	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	18	－	－	－	－	－	1	－	－					
京都市計	－	－	1	8	90	3	1	1	7	－	1	－	2	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	0.25	－	0.25	0.25	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	－	1.00	－	－	－	0.25	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	1.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	－	3.00	0.50	－	－	－	－	－							
山科	－	－	－	0.40	0.60	－	－	－	0.80	－	－	－	－					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	－	1.33	－	－	－	－	－	－							
右京	－	－	0.20	0.60	3.80	－	－	－	0.20	－	－	－	2.00					
伏見	－	－	－	0.14	4.29	0.29	－	－	0.14	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	3.60	－	－	－	－	－	0.20	－	－					
京都市計	－	－	0.02	0.19	2.09	0.07	0.02	0.02	0.16	－	0.02	－	0.20	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

2022年5月2日～2022年5月8日

データ入手日:2022年5月11日

年齢階級，疾病別報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱		1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	－	－	－	2	－	－	2	1	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎		90	－	7	14	9	8	3	5	3	4	6	2	11	3	15	－	－	－	－	－	－
水痘		3	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手足口病		1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑		1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん		7	－	2	2	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱		0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.19	－	－	－	0.05	－	－	0.05	0.02	－	－	－	－	－	0.07	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎		2.09	－	0.16	0.33	0.21	0.19	0.07	0.12	0.07	0.09	0.14	0.05	0.26	0.07	0.35	－	－	－	－	－	－
水痘		0.07	－	－	－	－	－	0.02	0.02	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－
手足口病		0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
伝染性紅斑		0.02	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん		0.16	－	0.05	0.05	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	0.10	－	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第18週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2022年5月11日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	2	1	–
咽頭結膜熱	2	–	–	2	5	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	10	25	17	23	8
感染性胃腸炎	104	76	86	119	127	90
水痘	1	–	6	4	6	3
手足口病	1	–	–	–	2	1
伝染性紅斑	–	2	–	–	–	1
突発性発しん	7	7	7	4	8	7
ヘルパンギーナ	3	1	6	1	2	–
流行性耳下腺炎	–	–	–	1	1	1
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	4	1	1	–	2	2
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	127	97	131	150	177	114

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	0.05	0.02	–
咽頭結膜熱	0.05	–	–	0.05	0.12	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.12	0.23	0.58	0.40	0.53	0.19
感染性胃腸炎	2.42	1.77	2.00	2.77	2.95	2.09
水痘	0.02	–	0.14	0.09	0.14	0.07
手足口病	0.02	–	–	–	0.05	0.02
伝染性紅斑	–	0.05	–	–	–	0.02
突発性発しん	0.16	0.16	0.16	0.09	0.19	0.16
ヘルパンギーナ	0.07	0.02	0.14	0.02	0.05	–
流行性耳下腺炎	–	–	–	0.02	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.40	0.10	0.10	–	0.20	0.20
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	3.26	2.33	3.12	3.49	4.27	2.80

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。